

Passion for Dentistry

Faculty of Dentistry
Niigata University

Department of Dentistry
Department of Oral Health and Welfare

2021

新潟大学歯学部

歯学科・口腔生命福祉学科

Passion for Dentistry

Faculty of Dentistry Niigata University

CAMPUS GUIDE
2021



新潟大学 歯学部長
前田 健康
MAEDA Takeyasu

恵まれた環境でともに学ぼう

新潟大学歯学部は昭和40(1965)年、3番目の国立大学歯学部として設置されました。歯学部の位置する新潟県は南北に長い海岸線をもち、また山々に囲まれた四季の明瞭な自然豊かな土地です。四季明瞭で豊かな自然是コシヒカリ、お魚、お酒に代表される食材をもたらし、それと共に発展してきた豊かな

食文化をもっています。私たちは口腔の健康を「食べる」、「飲み込む」、「話す」、「表情を作る」などの「人として生きて行くために必要な機能の回復・維持にある」と考え、教育、研究、診療、さらには社会貢献に力を注いでいます。

歯学部設置当時は歯科医師不足とむし歯の洪水で、地域歯科医療に貢献できる人材、いわゆるdrill、fill、built(歯を削って、詰めて、かぶせる)のできる人材の育成が求められていました。時の経過と共に、社会情勢は大きく変わり、我が国は超高齢社会となり、歯科医療も健常者型から高齢者型への転換が求められ、健康寿命の延伸が国家政策となっています。

超高齢社会の到来に備え、新潟大学歯学部は6年制の歯科医師養成コースの歯学科に加え、平成16(2004)年に全国で初めて4年制の口腔生命福祉学科を設置しました。口腔生命福祉学科は超高齢社会を迎えるなかでその必要性が高まっている、「食べる」とや口腔機能の維持向上という視点から保健・医療・福祉を総合的にマネジメントできる専門家を養成することを目的として

おり、卒業により歯科衛生士と社会福祉士の2つの国家試験受験資格を取得できるカリキュラムを提供しています。

歯学教育は、むし歯の処置や抜歯など技術教育の比重が高く、また、その技術を裏付ける知識が不可欠です。また、卒前に実際の患者様での臨床実習を行うため、社会に貢献する歯科医師として求められる知識・技術・態度の3つを効果的・一体的に学べるよう教育カリキュラム改革に取り組んできました。これらカリキュラムの改善には各種競争的外部資金を獲得し、学士課程から大学院課程まで教育改善を進めると共に、平成27(2015)年には歯学部校舎の大型改修工事の竣工、教育機器・設備の更新・導入により、ソフトおよびハード面でも、我が国で最先端の教育研究機関となりました。さらに平成24(2012)年度には文部科学省事業「大学間共同教育連携推進事業」にも採択され、PBLチュートリアル、統合型模型実習、診療実践型の臨床実習の実施等、国内外の人材養成のモデルになっています。

大学院医歯学総合研究科には口腔生命科学専攻及び口腔生命福祉学専攻(博士前期・後期課程)を設置し、保健・医療・福祉を統合した学際的研究を推進しています。また、「魅力ある大学院教育イニシアチブ」、「大学院教育改革支援プログラム」、「組織的な若手研究者等海外派遣プログラム」等に採択されるなど、大学院教育の改善を進め、高度医療専門職業人、国際性のある研究者の育成にあたっています。

また、新潟大学歯学部ではグローバル社会で活躍できる人材育成を目的として、学部学生の短期海外留学を積極的に奨励・支援するとともに、諸外国からの短期留学生を受け入れ、国際的視野を持つ人材育成に努めています。

新潟大学歯学部では、これからも口腔や食べることの視点から包括的な医療人を養成し、社会に貢献できる人材を提供していきます。“すべての人の健康と質の高い生活を実現する”ために努力するという志をもった学生諸君を待っています。

歯学科

歯学を口腔生命科学として捉え、
歯学界をリードする人材を養成する。

高い歯科臨床能力と問題解決能力をもった歯科医師を目指す。

困難な場面に直面した時に自ら問題を解決できる能力をもち、

主体的に考えることのできる歯科医師を育てるため、

自主性と創造性を重視した実践的教育を行っています。



歯学科の教育目標

変化の激しい現代社会のなかで、患者さんの多様な価値観を受け入れ、質の高い医療を提供するために、新たな諸課題に関係者と適切に連携しながら問題解決を図っていく能力を備え、全人的医療を実践できる高い歯科臨床能力を有する人材を育成する。



● 入学者に求める能力

- 01 高等学校卒業レベルの幅広い基礎学力
- 02 論理的な思考力
- 03 自分の考えを適切に他者に伝える表現力
- 04 自ら新しい課題に意欲的に取り組もうとする態度
- 05 相手の気持ちを親身になって理解しようとする姿勢
- 06 歯学・歯科医療ならびに生命科学の研究に対する高い目的意識と学習意欲

カリキュラムの特色

POINT

1 学生個人の教養の育成

大学での教養教育において何が学べるのか、何を学びたいのか、なぜ学ぶのかを学生自身に考えさせる授業科目「教養を考える」を開講し、学生個人の教養を涵養することに努めています。また、教養科目の履修指定を最低限とし、学生が科目を自由に選択できるようにしています。

POINT

3 教育の体系化とアクティブラーニング

教育分野単位の講義・実習に加え、分野横断的な統合科目の開講により、各分野で修得した知識・技能の統合、活用を目指します。また、問題発見解決型学習法(Problem-Based Learning)をはじめとするアクティブラーニングを積極的に取り入れ、課題解決能力を涵養します。

POINT

5 授業科目の一部選択制

必修科目のほかに、選択制の科目を開講しています。研究に興味のある学生は研究室に配属されて教員と共に研究をする研究科目を、国際的な活動に興味のある学生は短期間の海外派遣プログラムに参加する留学科目を選択でき、意欲と興味に基づいて多様な経験をすることができます。

POINT

2 入学後早期からの臨床実習の実施

入学直後の1年次から医療現場を体験する実習や病院における歯科治療の第一線にふれる「早期臨床実習I」を実施し、学習に対するモチベーションの高揚をはかり、将来の歯科医師としての自覚を芽生えさせます。

POINT

4 社会環境への対応

情報化・グローバル化に対応するため、情報検索や情報倫理の教育に力を入れるほか、語学や国際保健に関する科目を開講して、国際的に活躍する人材の育成にも力を入れています。一方で近年求められている多職種連携や地域包括ケアをはじめとする地域歯科保健についても見学実習などを通じて学ぶことができます。

POINT

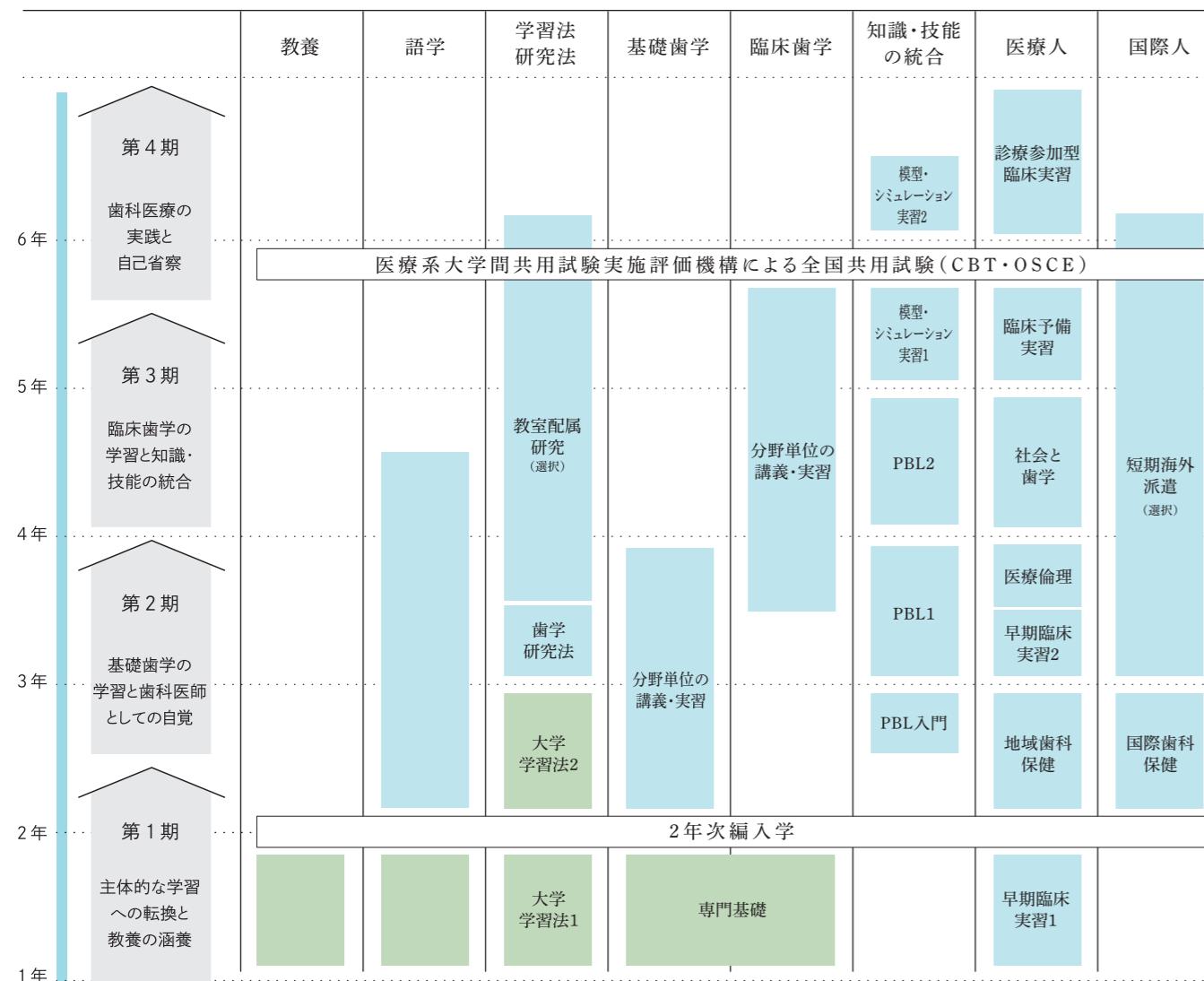
6 診療参加型実習と歯科臨床能力の担保

歯科医師として必要な基礎的臨床能力を育成するため、指導教員の下で実際の歯科医療を行う診療参加型実習を充実させています。学生が日々の実習で記載したポートフォリオでの指導と評価を受けるとともに、実際の患者診療を指導教員が評価することで歯科臨床能力の担保がなされます。

歯学科 カリキュラム

(令和2年4月現在)

歯学部歯学科では、情報化・グローバル化などの現代ニーズに対応するため、コンピューターリテラシー教育や外国語教育を拡充するとともに、新たな諸課題に関する者と適切に連携しながら問題解決をはかっていく能力を育成するため、少人数による問題発見解決型学習法(Problem-Based Learning)を導入しています。また、効果的な学習のため、専門科目の統合・再編成を行い、密度の高いバランスのとれた講義・実習を行っています。



1・2年次

初年次には五十嵐キャンパスで他学部の学生とともに教養教育に関する授業科目や情報リテラシーなどの大学での学習法を学ぶとともに、医歯学総合病院で歯科治療の現場を体験します。2年次になると学習と生活の場はすべて旭町キャンパスへ移り、学習法の発展などのアクティブラーニング科目に加え、専門的な科目として解剖学、生理学、生化学、薬理学、微生物学、理工学などが開講され、口腔生命科学を学ぶための基礎知識・技能を修得します。

3・4年次

講義のみではなくPBLなど教員により工夫された専門教育に関する科目を学ぶとともに、治療技術を習得する模型実習が始まります。模型実習は少人数のグループごとにインストラクターが配置され、丁寧な指導が行われます。また、全国に先駆けて導入したコンピューターシミュレーションシステムを用いた実習を行い、実際に病院で患者さんの治療にあたる前に、より実践的な実習を経験することができます。

5・6年次

実際の歯科臨床で遭遇するさまざまな疾患を統合的に診断治療していくために必要な理論・技術を学びます。5年生の前半には臨床予備実習と総合模型実習が始まり、実際の臨床現場に出るため、それまでの知識・技能を統合します。5年生の後半から約1年間かけて行う臨床実習では指導教員の下で実際の患者さんを相手にして実習が進められ、歯科医師として必要な基本的技術の習得、心構えなどを学びます。

学生からのメッセージ

有意義な6年間を過ごしませんか

尾崎 紀子 OZAKI Kiko 歯学部歯学科6年



私が新潟大学歯学部を選んだ主な理由は、新潟大学医歯学総合病院歯科の診療科の多様性、早期臨床実習、そして診療参加型臨床実習です。

新潟大学医歯学総合病院のホームページを見ると、歯科の診療科の数が多いと感じます。つまり新潟大学には様々な分野に精通した先生方がいて、その先生方の講義を受講できるということです。実際にそのような環境で学ぶことができ、自分自身の将来の選択肢が広がったと感じています。

また、1年生では早期臨床実習を行います。入学直後という早い時期に実際の診療を見学、体験することで自分なりの歯科医師像を思い描くことができ、6年間の学習を実りのあるものにすることができました。

現在、私は診療参加型臨床実習を行っています。臨床実習では先生の指導の下で学生が患者様1人1人に合った治療内容を考え、実際に治療を行います。ここまで学生が診療に携わる臨床実習は全国的に珍しく、とても貴重な経験をすることができます。先生方は私たち学生が自分で考え、判断する能力を伸

ばせるよう勉強の手助けをしてくれるなど、丁寧に指導していただきます。この臨床実習を経験したことで患者様を大切にしようという気持ちが自然と身に付きました。これは模型を使用した実習だけでは得ることができなかったと思います。

歯学部での大学生活は実習や勉強だけではなく、文化祭、運動会などのイベントや部活動もあります。部活動では全国の歯学部生が集まる全日本歯科学生総合体育大会が毎年行われます。皆がこの大会に向けて頑張ってきたため、応援にも力が入り、とても盛り上がります。毎日試合でとても疲れますが、それ以上に部活のメンバーと一緒に過ごすことができるため楽しい期間でもあります。

新潟大学歯学部には勉強に実習、部活にイベントなど学べることや楽しいことがたくさんあります。きっと皆さんにとっても有意義な6年間を過ごすことができるのではないでしょうか。

卒業後の進路

6年次の2月に歯科医師国家試験を受験し、これに合格すると歯科医師免許を取得することができます。歯科医師免許取得後は、大学で修得した知識・技能・態度をより高度なものにするため、1年間の歯科医師臨床研修を受ける必要があります。新潟大学医歯学総合病院でも充実した研修プログラムが用意されており、1年間の研修で担当する患者さんの総数は全国でもトップクラスです。

臨床研修修了後はさまざまな分野に進出し活躍をしています。病院や歯科診療所に勤務するほか、大学院に進学して研究を行ったり、より高度な専門医療技術を修得する人もいます。場合によっては歯科医師として勤務しながら、社会人大学院生として学位の取得を目指す人もいます。ほかにも公衆衛生などの医療行政に携わったり、学んだ知識・技能を生かして海外で活躍している卒業生もいます。



STUDENT
VOICE

口腔生命福祉学科

「食べる」ことの視点から、
あらゆる人のQOL(生活の質)の向上を
追求できる人材を養成する。

歯科衛生士と社会福祉士という2つの資格を取得し、
保健・医療・福祉を総合的にマネジメントできる専門家を目指す。

「おいしく安全に食べる」ために必要となる保健・医療・福祉サービスを
総合的に受けられる社会を創るために、専門知識と問題解決能力を育みます。



口腔生命福祉学科の教育目標

変化の激しい現代社会のなかで、国民の多様な価値観を受け入れ、質の高い保健医療福祉サービスを提供するために、新たな諸課題に関係者と適切に連携しながら、問題解決を図っていく能力を備え、口腔保健・歯科医療・福祉を総合的に思考・展開できる能力を有する人材を育成する。



● 入学者に求める能力

- 01 高等学校卒業レベルの幅広い基礎学力
- 02 論理的な思考力
- 03 自分の考えを適切に他者に伝える表現力
- 04 自ら新しい課題に意欲的に取り組もうとする態度
- 05 相手の気持ちを親身になって理解しようとする姿勢
- 06 口腔の健康増進を基盤とした保健・医療・福祉に対する高い目的意識と学習意欲

カリキュラムの特色

POINT

1 早期からの現場の見学・体験実習

1年次には実際の歯科医療の臨床現場を見学・体験する「早期臨床実習I B」が行われ、今後の学習へのモチベーションを高揚します。2年次・3年次には学外での見学実習が行われ、実際に歯科衛生士・社会福祉士が活躍する現場の見学をすることで、2つの職に対する理解を深めることができます。

POINT

2 PBL中心のアクティブラーニング

口腔生命福祉学科の専門科目の多くでは、問題発見解決型学習(Problem-Based Learning)を取り入れており、学生が主体的に学習に取り組めるようになっています。これにより、自ら知識を修得とともに、保健・医療・福祉などのさまざまな場面で実践できる課題解決能力を涵養します。

POINT

3 情報化・グローバル化社会への対応

大学学習法でコンピューターリテラシーを学ぶほか、PBLや口腔保健福祉特論では自主学習のなかで情報検索・収集して問題解決を目指します。グローバル化社会へ対応するため、希望する学生は短期海外派遣プログラムに参加し、国際口腔保健について考えることができます。

POINT

歯科衛生士とは…

歯科診療所や病院の歯科口腔外科などで患者さんに対して、歯石除去や口腔保健指導、歯科診療の補助を行う歯科専門職です。ほかにも保健所・保健センターで予防処置や歯科相談・指導に従事する人もいます。歯科医療が予防中心に変化するなかで、歯科衛生士の活躍の場はますます広がっています。

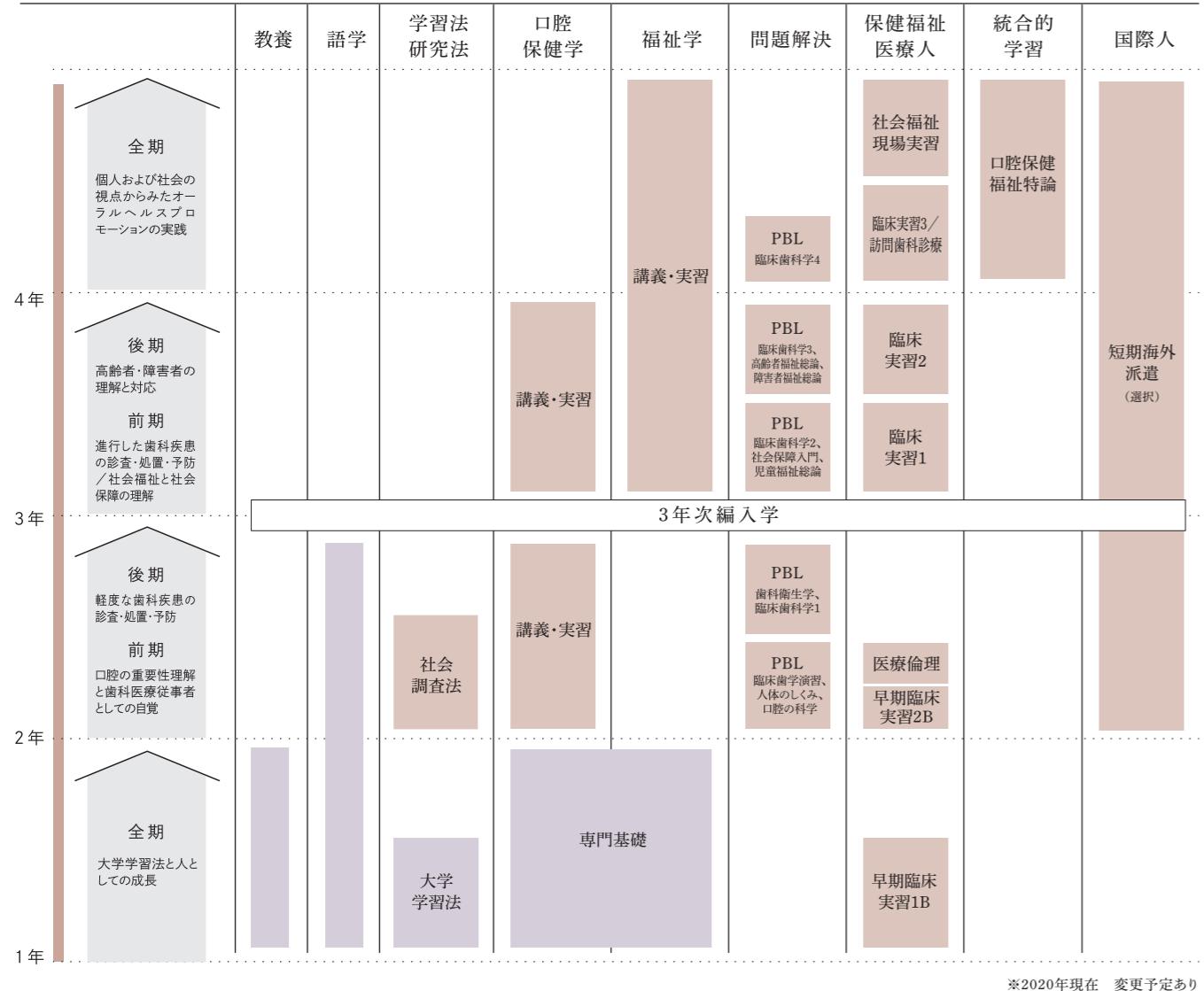
社会福祉士とは…

行政や社会福祉・介護施設などで、福祉の相談や指導・助言を行う福祉専門職です。病院などで入院患者さんなどのさまざまな相談・支援を行うメディカルソーシャルワーカーとして従事する人もいます。高齢化により多様な支援を必要とする人が増加しているため、社会福祉士はより重要な仕事となっています。

口腔生命福祉学科 カリキュラム

(令和2年4月現在)

超高齢社会を迎える日本では、食べること、飲み込むことに障害をもつ方が増加しています。また、口の中を清潔に保ち、口腔機能を維持向上することが、全身の疾患予防・健康の改善につながることが明らかになり、口腔ケアに対する関心は高まっています。こうした社会ニーズに対応できる専門家の養成のため、口腔保健学と福祉学の両方を学び、すべての学生が歯科衛生士と社会福祉士の2つの国家試験受験資格を取得する全国唯一のカリキュラムを提供します。



1年次には五十嵐キャンパスで他学部の学生とともに教養教育に関する授業科目を中心に履修するほか、大学学習法や早期臨床実習を旭町キャンパスで履修します。2年次になると旭町キャンパスで、講義、問題発見解決型学習(Problem-Based Learning)、実習を組み合わせながら、歯科衛生士として必要な口腔保健関係科目が開講されます。

口腔保健関係科目に加え、社会福祉士として必要となる福祉関係の授業科目が開講され、講義、PBL、実習、演習により学習します。また3年次の後半からは医歯学総合病院での実習も始まります。4年次になると医歯学総合病院で実際の患者さんの治療に携わる臨床実習と学外の福祉施設で業務を体験する社会福祉現場実習が行われます。

学生からのメッセージ

口腔生命福祉学科で得られるもの

本間 利奈 HONMA Rina 口腔生命福祉学科4年



口腔生命福祉学科では「歯科」と「福祉」の2分野を学び、歯科衛生士と社会福祉士の国家資格取得を目指します。入学当初は、歯科と福祉について関係がないように感じていましたが、超高齢社会の現在、医療は様々な分野と連携しており、「おいしく食べる」ことを提供するために様々な職種が関わっていることを知りました。口腔健康が重要視される中で保健・医療・福祉サービスを総合的に提供できる存在はとても重要になります。そこで私たちは「歯科」と「福祉」について高度な専門知識と、問題に直面した時に広い視点から考える能力を身につけるため、日々学習しています。

私たちの学科では、PBLを多く取り入れており、学生主体で能動的に学ぶため、知識が身につきやすいと感じています。また疑問を持つ力や問題を解決する力も身につきました。3年次後半から始まる臨床実習では実際に患者さんを相手に歯科医師と連携して治療を行います。これから行う治療の流れを頭に入れ、先を読み、気の利いた診療補助が出来るよう努めています。模型での実習とは違い、患者さん一人ひとりが全く異なる状態で、臨機応変に対応していく力も身につきます。4年次の臨床実習と社会福祉現場実習では、今まで学んで

きたことを最大限に発揮でき、机上では計り知れない知識をさらに取得できる恵まれた環境が整っています。日々新たな発見の毎日で学ぶことは尽きず、向上心を持って実習に取り組んでいます。

また、部活動やサークルが充実していることも魅力のひとつです。私は国際交流サークルに所属しており、海外から来た留学生と交流したり、自ら海外に短期留学したり、今まで経験することのなかった一生忘れられない貴重な体験をすることができました。新たに挑戦するとも良い機会がたくさんあります。

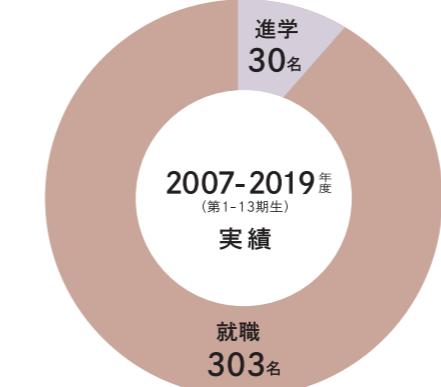
4年間で2つの国家資格の取得を目指すため、学年が上がるごとに忙しい毎日になってきますが、約20人という少ないクラスメートと共に学び、励まし合い、お互いに支え合いながら過ごす4年間はかけがえのないものになります。またいつでも親身に相談に乗って下さる先生方からの手厚いサポートもあるため安心して学業に励むことができます。ぜひ皆さんも新潟大学歯学部で実りのある4年間の大学生活を送りませんか。

STUDENT
VOICE

卒業後の進路

4年次の2月に社会福祉士国家試験、3月に歯科衛生士国家試験を受験し、合格するとそれぞれの国家資格が与えられます。口腔生命福祉学科の卒業生は、取得した2つの資格を活かして、保健・医療・福祉を中心としたさまざまな分野で活躍しています。

主な就職先としては、病院や歯科診療所の歯科衛生士、都道府県や市区町村などの行政における福祉職や歯科衛生士、病院等におけるソーシャルワーカー、社会福祉施設の生活相談員や介護支援専門員、などが挙げられます。また、大学院に進学して口腔保健学、福祉学の研究を志すこともできます。



過去5年間の進路

	就職					進学	
	病院	歯科診療所	行政	福祉施設・団体	その他	大学院	その他
H27	7	11	8	1	1	2	0
H28	7	4	4	2	4	1	1
H29	11	7	8	0	0	1	0
H30	9	8	5	2	0	0	0
R1	6	9	4	0	3	2	0

国際感覚を養い、 グローバル社会で活躍する人材へ。

異なる言語、文化、環境と交わり、さまざまな経験を積みながら、国際感覚を養います。

海外の歯科大学などへの留学は、またとない絶好の機会です。



留学生の受け入れ

短期海外派遣だけでなく、海外からの短期留学も積極的に受け入れています。来学した留学生は本学教員による講義・実習を受講するほか、日本文化や新潟の食を楽しんでいます。留学生との交流は国際交流サークルNEXUSに所属する学生が中心となり、歓迎パーティーの開催など積極的に行われています。

また大学院医歯学総合研究科には、世界各国から多数の外国人留学生が在籍しており、新潟で最新の歯科医学を学びながら、口腔生命科学の研究に励んでいます。



NEXUSのBlogをご覧ください
<http://dentniigatauniv.blog.fc2.com/>

教員の海外派遣・外国人教員の受け入れ

歯学部には研究や研修のためにアジア諸国や欧米各国に留学をする教員も多数います。留学先で歯学教育や歯科研究を学び、帰国後には海外で得た経験を本学部の教育や研究に活かしています。また、海外で開催される国際学会やシンポジウムで研究成果を発表したり、国際誌に論文を投稿するなど、積極的に活動している教員も多数います。

歯学部には外国人教員が在籍しており、海外での保健・医療・福祉の事情を学ぶことができます。また外国人教員による語学教育では、日常会話だけでなく、医療に関する専門的な表現を学ぶこともできます。



交流協定

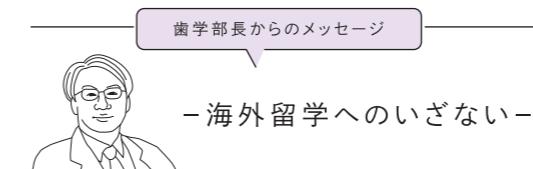
新潟大学歯学部は世界各国の大学歯学部と交流協定を締結しています。

各大学との共同研究、セミナー開催、人事交流など活発な交流が行われています。

【協定締結校】

- インドネシア / ガジャマダ大学歯学部、マラナタクリスチャン大学、インドネシア大学歯学部、イルランガ大学、メストボ大学、トリサクティー大学、ハントゥア大学、スマトラウタラ大学
- スリランカ / ベラディニア大学歯学部
- タイ / パヤオ大学、コンケン大学、タマサート大学歯学部、チェンマイ大学歯学部、マヒダン大学、スラナリーア工科大学、チュラロンコン大学、プリンスオブシクラ大学歯学部、ナレースワン大学
- 大韓民国 / 延世大学、安東科学大学歯学部、ソウル大学
- 中華人民共和国 / ハルビン医科大学、中国昆明医学院口腔医学系、中国吉林大学口腔医学院、香港大学
- 台湾 / 陽明大学歯学部、国立台湾大学、台北医科大学
- バングラディッシュ / ダッカ大学、BSM 医科大学歯学部、ユニバーシティ歯科大学、シティ歯科大学
- フィリピン / フィリピン大学歯学部、マニラ・セントラル大学歯学部、イースト大学歯学部
- ベトナム / ホーチミン医科大学歯学部、ハノイ医科大学歯学部
- ミャンマー / ヤンゴン歯科大学、マンダレー歯科大学
- オーストラリア / チャールズ・スタート大学
- ニュージーランド / オタゴ大学
- アメリカ合衆国 / ワシントン大学、ミネソタ大学、カリフォルニア大学サンフランシスコ歯学部、ベンシルバニア大学歯学部、イリノイ大学シカゴ校
- カナダ / トロント大学、ブリティッシュコロンビア大学歯学部
- ブラジル / ノバフィーリーナ大学、サンパウロ大学
- ペルー / 南部科学大学
- メキシコ / コアウイラ自治大学歯学部
- スウェーデン / マルメ大学歯学部
- ルーマニア / カロルダビラ・カレスト医科大学歯学部
- ロシア / クラスノヤルスク国立医科大学歯学部、パンフィック医科大学歯学部

(2020年6月現在)



- 海外留学へのいざない -

1994年、私は文部省在外研究員として、アメリカ・シアトルにあるワシントン大学医学部に留学しました。当時はまだ、日本の大学の一部でインターネット、Eメールが使えるようにならばかりであり、アメリカと新潟の連絡手段は電話、ファックスしかありませんでした。それから約20年、IT機器の進歩はめざましく、外国にいても即座に日本の情報が手に入り、またSkype等を利用して気軽にコミュニケーションがとれるようになりました。しかし、文明の機器がいくら発達し、便利になってしまっても、人と人の付き合いは直に接し、異なる習慣・環境の中で暮らし、その文化を知らなければうわべだけのものになってしまいます。グローバル化が叫ばれて久しいにもかかわらず、外国に出る若い人達の数は年々少なくなっています。危機感をいたいた政府は厳しい財政状況の中、若者達に海外交流を経験するためにさまざまな支援を行っています。その中の一つのプログラムにショートステイ・ショートビギット事業(略してSSSV事業)があります。この事業を活用して、新潟大学歯学部では短期学生派遣、短期学生受け入れを行い、短期外国留学を経験した学生達で国際交流サークルを結成し、情報交換、外国人学生の生活支援などさまざまな活動を行っています。この制度を活用し、第1歩を踏みだしましょう。世界の若者達が君達の来訪を待っています。硬い殻を破り、勇気をもって、世界への扉を開こう。言葉は関係ありません。言葉は後からついてきます。

学生からのメッセージ

短期海外派遣プログラムに参加して
村山 未帆 MURAYAMA Miho 歯学部歯学科4年

新潟大学歯学部の魅力の1つとして短期海外派遣プログラムがあります。短期海外派遣に参加することで、日本においては知ることのできない、多くのことを学生のうちから経験することができます。

私がこのプログラムに参加した目的は、現地の歯科大学で歯科医療および歯科教育の現状について、実際に自分の目で見て聞いて触れて学びたいと思ったからです。派遣先は東南アジアから欧米まで幅広く、様々な歯科大学や国際機関の中から選択することができ、また先輩や先生方のサポートも非常に充実しているため、安心してチャレンジすることができました。そこで、私は口腔生命福祉学科3年次の春休みの期間を利用してタイのコンケン大学のプログラムに、歯学科3年次の夏休みの期間にインドネシアのガジャマダ大学サマーコースに参加してきました。

ガジャマダ大学のサマーコースは、世界各地の歯学部生が集まり、教授からのレクチャーや小组赛でのディスカッション、班別での様々な実地研修をおこなう2週間のプログラムでした。日本からは新潟大学のほかに九州大学と徳島大学、海外ではインドネシア・マレーシアからの学生らが参加していました。実地研修では地元の小学校を訪問し、実際に現地の小学生を前にして虫歯と歯磨きの大切さについての教育活動や歯磨き指導を行うという貴重な経験をさせていただきました。また、様々な大学と地域からの学生が参加しているため、幅広い交流があり、それぞれの国の文化や歯科医療、教育制度の違いについても知ることができます。他国の学生と意見を交わすことでモチベーションも向上し、日本の歯科医療の現状や特徴について再認識するとてもよい機会となりました。

この経験や出会いは日本においては得ることのできない、一生もののがえのない財産になります。皆さんも新潟大学歯学部に入学して、ぜひこの貴重な経験をしてみませんか。

STUDENT VOICE



バーチャルとリアルのマルチ展開。

新潟大学歯学部では2012年から4年を費やして校舎の全面的な改修を行いました。
さまざまな歯科医学教育のニーズに対応できる最新の実習設備や教育環境が整備されています。



Faculty of Dentistry Niigata University



PICK UP!

入れ歯や差し歯、矯正装置の製作実習を行う実習機は2016年に導入された6角形タイプ



PICK UP!

実際の歯の大きさや硬さを再現したバーチャルリアリティーのトレーニングシステム「ムーヴSimodontデンタルトレーナー」を国内最大数導入している。



1|2 高精度な模型実習が可能な実習室 3 多くの製作物に対応する技工室 4 臨床実習生には一人一台の技工机 5|6 歯科診療室と同レベルのリアルな相互実習室

臨床教育と臨床研究の中核

医学と歯科医学が相互に連携した最先端の研究が行われる病院で、実践的な力を身につける。

歯学部では歯学科は5年生から、口腔生命福祉学科は3年生から医歯学総合病院での臨床実習が行われています。

医歯学総合病院は、日本海側の国立大学附属病院の中では医歯学を兼ね備えた唯一の総合病院であり、

環日本海における歯科医療の拠点として活動しています。

医歯学総合病院では100人以上の教員が診療に従事し、学生、臨床研修医の教育にあたっています。



● 診療参加型臨床実習



本学の臨床実習では指導医の下で実際に診療に参加する「診療参加型臨床実習」を全面的に取り入れています。歯学科の臨床実習では主治医の指導の下で担当医の一人として患者さんの歯科治療に携わることで、知識・技能の習熟を図るだけでなく、医療人としてのprofessionalismを涵養します。口腔生命福祉学科の臨床実習では、歯科診療補助、予防処置、保健指導などの歯科衛生士業務を、歯科医師や歯科衛生士の指導の下、歯

科臨床の現場で実践することにより、業務への理解を深め、歯科衛生士としての知識・技能・態度を総合的に高めます。いずれの学科の実習も実際の患者さんの協力によって成り立っており、とても恵まれた環境で実習することができます。新潟大学歯学部に入学を希望するみなさんには、数年後に臨床実習で診療をする際に、感謝の気持ちを忘れずに、積極的に実習に取り組んでください。

● 新潟大学医歯学総合病院



医歯学総合病院の歯科診療部門には4系列12診療科と7つの中央診療施設があります。また各診療科には多くの専門外来があり、新潟市内はもとより遠方からも1日平均600人を超える患者さんが歯科診療のために来院しています。患者さんの数が多いことは、臨床研究や臨床技術の向上につながるだけでなく、学生の臨床教育の充実につながっています。

歯科外来には140台以上の歯科ユニットが設置されており、その一部は臨床実習のために確保されています。学生は実際の歯科

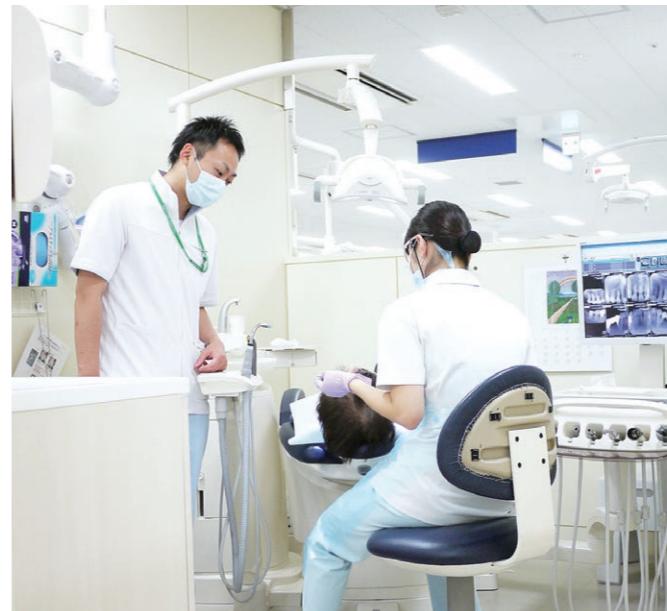
医師・歯科衛生士と同じ環境で実際の患者さんを対象とした診療にたずさわることにより、それまでに学んだ知識・技能を統合するだけでなく、より実践的な臨床能力を身につけることができます。近年の歯科治療は身体にやさしい材料の開発や診断技術の向上、デジタル機器の導入などにより急速に進歩しています。新潟大学医歯学総合病院では研究成果を生かした最新の歯科治療や医科も含めた複数の専門家による診療チームによる治療を積極的に行ってています。



● 学外での訪問歯科診療

高齢者の方、障がいの方、有病者の方などの中には通院することが困難な人もいるため、病院外での歯科医師・歯科衛生士の役割が重要になってきています。このようなニーズに対応するため、臨床実習中の学生を対象に在宅医療や訪問医療の見学実習

を行っており、その方法や重要性を学ぶことができます。ほかにも、高等学校での歯科検診や保健福祉センターでの地域歯科保健指導など、病院外でも多くの方々の協力のもと、実習を行っています。



最新の研究機器を導入し、口の中のさまざまな研究を行う。

実習施設だけでなく、研究についても最新機器などが導入されており、歯や口腔内をはじめ、全身疾患との関連や再生医療などさまざまな研究を行っています。



CHECK!

① 学生の研究参加

新潟大学歯学部の教員はさまざまな研究を行なっていますが、学生のみなさんも教員と一緒に研究活動に参加できる機会が用意されています。なかには学会やシンポジウムで発表を行うなど、積極的に研究に取り組んでいる学生もいます。

研究テーマの例

- 口腔線維細胞の培養・継代・凍結保存
- マウス唾液腺発生過程におけるグリコーゲン代謝
- 歯の発生のメカニズム
- ヒトの嚥下誘発に影響を与える因子の探索
- アンモニアが血液脳関門構成細胞に与える影響
- 食品成分の骨に及ぼす影響



CHECK!

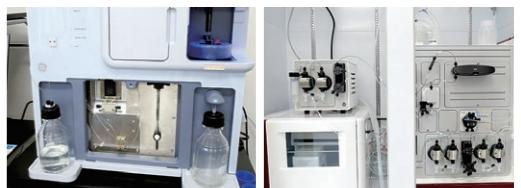
② 先端科学研究を行う大学院

大学院医歯学総合研究科では、むし歯や歯周病など歯に関するることはもちろん、口腔内や顎顔面領域を中心とした幅広い領域で最先端の研究を行っています。

研究機器

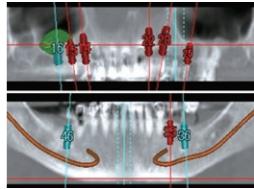
遺伝子やタンパク質の精密解析システム

高解像度のイメージング機器を用いて、免疫細胞と細菌の相互作用をリアルタイムに解析。



CTを応用したインプラント埋入シミュレーション

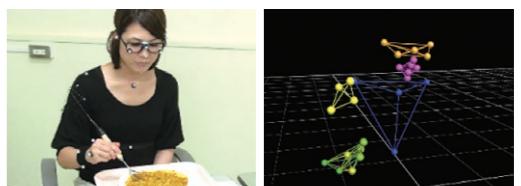
CTデータを分析してインプラント埋入のシミュレーションを行い、適切な治療計画を検討している。



「食べる」を科学する

三次元モーションキャプチャーシステム

スポーツ医学でも応用されている三次元モーションキャプチャーシステムを用い、「食べる」動作の運動解析・協調運動・発達について研究を行っています。



「飲み込む動きと力」を測る

ものを飲み込む際の舌の動きを検出し、解析する舌機能評価システムを構築しています。



「食べる」を知るためのさまざまな記録

食べることは、実はとても複雑でさまざまな神経や筋を使って行っている運動です。エックス線、内視鏡、筋活動、脳活動を記録して食べる機能の解明を行っています。



再生医療

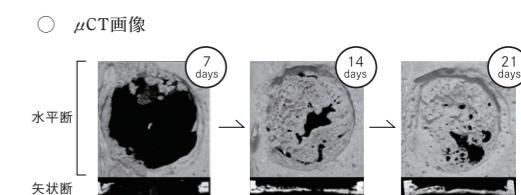
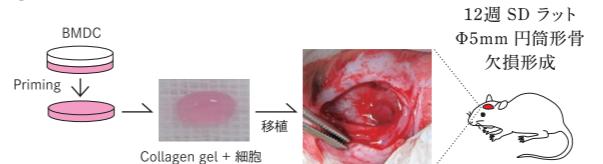
乳歯由来のiPS細胞を用いた再生医療研究

歯の交換により不要になった乳歯の細胞などを再生医療に応用する試みを行っています。

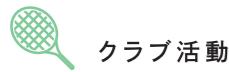


ラットを使用した細胞移植による骨再生

○ 細胞移植による骨再生モデル



CAMPUS LIFE



クラブ活動

運動部

- スキー部 ● バレーボール部 ● 卓球部 ● 弓道部
- バドミントン部 ● 剣道部 ● ゴルフ部 ● 硬式テニス部
- 軟式テニス部 ● 軟式野球部 ● バスケットボール部
- サッカー部 ● 水泳部 ● 陸上競技部

文化部

- 軽音楽部 ● 茶道部 ● 合唱部
- 国際交流サークル
- 国際歯科保健サークル
- 地域歯科保健サークル

※自分の好きなクラブがない場合は、仲間を募ってクラブをつくることも可能です。
歯学部学生会がバックアップします。



イベント

歯学部は講義・実習に追い回されるのでは?と思っている人も少なくないでしょう。確かに、学生たちは歯学部の6年間ないしは4年間の生活でいろいろな知識、技術、態度を勉強しています。忙しい中にも、学生が主体となり企画、実施しているイベントがいくつかあります。

歯学部歯学科の一学年は約40人、口腔生命福祉学科は約20人です。高校の1クラスとほぼ同じか、その半分の人数で、大学教育としてはきわめて少人数の単位なのです。想像してみてください。クラスが一致団結して、目標に向かう姿を。



歯学部運動会

例年、5月下旬の土曜日に歯学部運動会が学年対抗で開かれます。学生の学生による学生のための運動会ですが、各学年ごとのチームに教員も参加し、優勝を目指します。



医歯学祭

医学部・歯学部の文化祭で、10月下旬の土・日に旭町キャンパスで行われます。さまざまな団体による模擬店の出店や、病院の教員協力による無料歯科相談、各文化部の発表、著名人を招いた講演会などいろいろな企画が行われます。



スポーツ大会

休日を利用した、運動部が主催する各種スポーツ大会の開催も盛んです。サッカー、バレーボール、テニス、バスケットボール、ソフトボールなどで盛り上がります。



全日本歯科学生総合体育大会

全国29歯科大学・歯学部の学生による全国規模の体育大会で、25種目に約1万人の歯科学生が参加します。冬季部門3種目、夏季部門22種目で、部門優勝と総合優勝を競います。

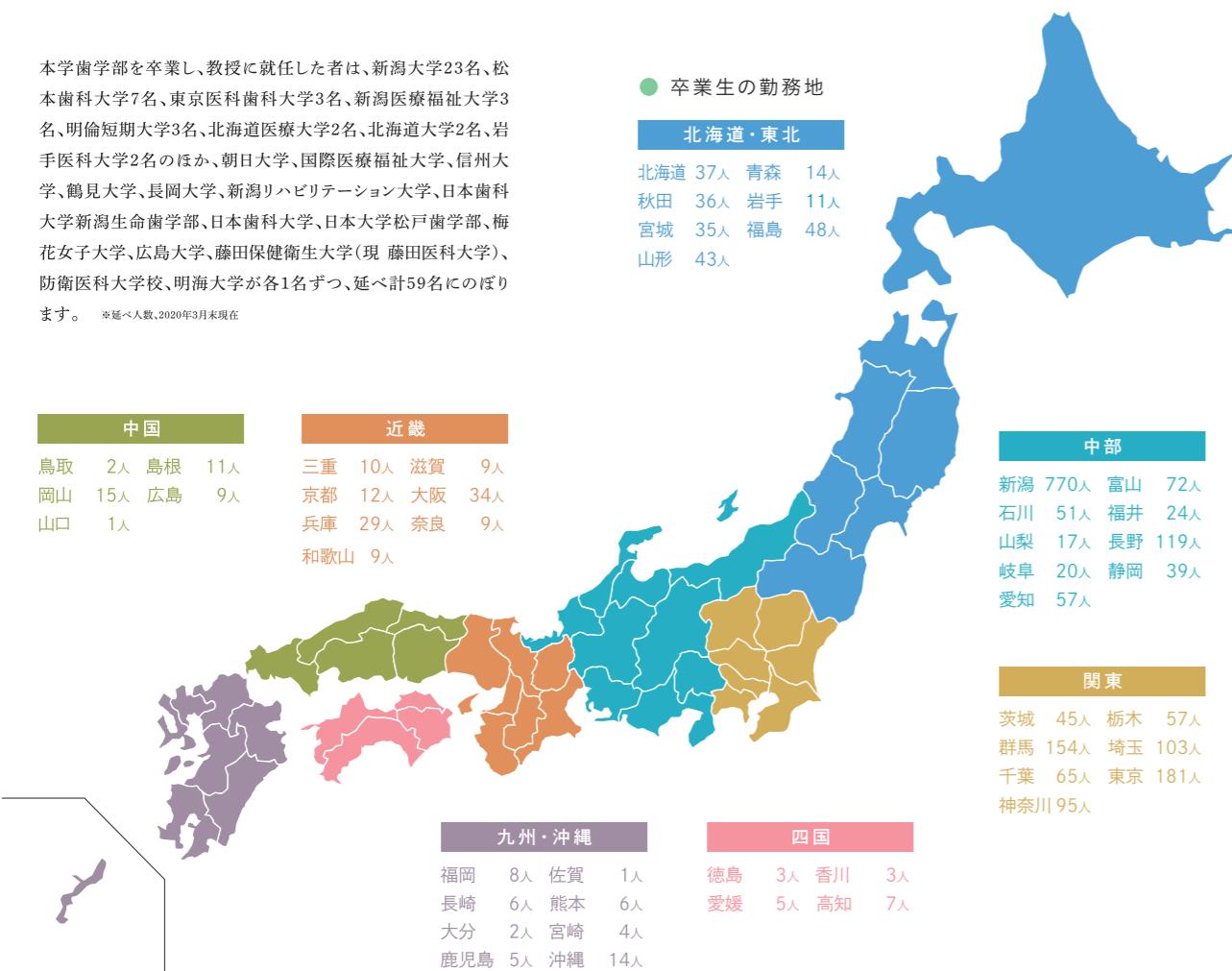
新潟大学歯学部の各運動部も毎年参加しています。

各地で活躍する卒業生

新潟大学歯学部の卒業生は令和2年3月末で2,389名に及び、新潟県のみならず、全国各地で、いろいろな分野で活躍しています。

新潟大学のみならず、他大学で教育、研究、診療にあたっている卒業生も数多くいます。

本学歯学部を卒業し、教授に就任した者は、新潟大学23名、松本歯科大学7名、東京医科歯科大学3名、新潟医療福祉大学3名、明倫短期大学3名、北海道医療大学2名、北海道大学2名、岩手医科大学2名のほか、朝日大学、国際医療福祉大学、信州大学、鶴見大学、長岡大学、新潟リハビリテーション大学、日本歯科大学新潟生命歯学部、日本歯科大学、日本大学松戸歯学部、梅花女子大学、広島大学、藤田保健衛生大学（現 藤田医科大学）、防衛医科大学校、明海大学が各1名ずつ、延べ計59名にのぼります。卒業者数、2020年3月末現在



同窓会会長からのメッセージ

有松 美紀子
ARIMATSU Mikiko 新潟県胎内市開業 / 歯学科 1984年卒業

新潟大学歯学部同窓会長の有松美紀子（歯学科14期生）です。現在、歯学科、口腔生命福祉学科の両学科合わせて2,800名余りの同窓生が国内だけでなく海外でも多岐にわたる分野で活躍しています。当同窓会は、2021年（令和3年）に創立50周年を迎え、現在記念事業の準備を進めています。新しい時代にふさわしい、歯学部学生や同窓生のために更なる発展を目指しています。

歯学部の学生は、同窓会の準会員となります。準会員向けとして次のような活動をしています。

- ①医歯学祭や運動会への助成
- ②学業や部活動における優秀者への表彰
- ③SCRP（全国の歯学部学生の研究発表会）等への援助

卒業生の勤務地

北海道・東北

北海道 37人
青森 14人
秋田 36人
岩手 11人
宮城 35人
福島 48人
山形 43人

中部

新潟 770人
富山 72人
石川 51人
福井 24人
山梨 17人
長野 119人
岐阜 20人
静岡 39人
愛知 57人

関東

茨城 45人
栃木 57人
群馬 154人
埼玉 103人
千葉 65人
東京 181人
神奈川 95人

九州・沖縄

福岡 8人
佐賀 1人
長崎 6人
大分 2人
鹿児島 5人
沖縄 14人
徳島 3人
香川 3人
愛媛 5人
高知 7人

入試案内

新潟大学歯学部ではわれわれとともに21世紀の歯科医療を担う優秀な人材を広く募集しています。

本学部の入学者選抜には主に以下の3つの選抜があります。その他に、私費外国人留学生や帰国子女を対象とした特別選抜（歯学科）、歯学科第2年次編入学試験および口腔生命福祉学科第3年次編入学試験も実施しています。

学校推薦型選抜

- 歯学科 [定員8名]
- 口腔生命福祉学科 [定員5名]

出身学校長の推薦に基づき、大学入学共通テスト、小論文および面接試験を総合的に判断して合格者を決定します。この方法で出願できるのは高校3年生だけです。小論文および面接試験は11月下旬に新潟大学歯学部で実施します。

一般選抜（前期日程）

- 歯学科 [定員24名]
- 口腔生命福祉学科 [定員15名]

大学入学共通テスト、個別学力検査及び面接試験の成績を総合的に判断して合格者を決定します。

個別学力検査および面接試験は2月下旬に新潟大学歯学部で実施します。

一般選抜（後期日程）

- 歯学科 [定員8名]

大学入学共通テストと面接試験の成績を総合的に判断して合格者を決定します。

面接試験は3月中旬に新潟大学歯学部で実施します。

※なお、各選抜試験ごとの募集人員および入試科目などは変更される可能性があります。
詳細は募集要項を参照してください。



2020年度入試実施状況

学科	募集人数	推薦入試		一般入試（前期日程）	一般入試（後期日程）
		志願者	倍率		
歯学科	10名	22名	2.0倍	8.2倍	9.8倍
	20名	180名		78名	
口腔生命福祉学科	5名	15名	3.0倍	—	—
	9名	35名	3.8倍	—	—

入学試験に関するお問い合わせ

〒951-8514 新潟市中央区学校町通2番町5274番地
新潟大学医歯学系歯学部事務室学務係 TEL. 025-227-2798・2799

e-mail : gakumu@dent.niigata-u.ac.jp

URL : <https://www.dent.niigata-u.ac.jp/>



ACCESS

新潟駅からバスに乗る場合

新潟駅前(万代口)から、市内バス「川端町経由新潟大学病院」行きに乗車し、約20分で到着します。時間によっては新潟駅前(万代口)から、「萬代橋ライン(BRT)」「信濃町線」「有明線」「西小針線」などに乗車、「市役所前」で下車してください。

JRを利用する場合

新潟駅で越後線に乗り換え、一つ目の「白山駅」下車、徒歩約15分です。
なお、白山駅前広場から「萬代橋ライン(BRT)」をご利用頂けます。(「市役所前」で下車。所要時間:約3分)

高速道路を利用する場合

北陸自動車道新潟西インターチェンジまたは、磐越自動車道新潟中央インターチェンジで高速道路を出て、新潟バイパスに入り、桜木インターチェンジで降ります。昭和大橋方面に直進し、約10分で到着します。

飛行機を利用する場合

新潟空港からタクシーに乗り、約30分です。

新潟大学歯学部

Faculty of Dentistry Niigata University

〒951-8514 新潟市中央区学校町通2番町5274番地 TEL.025-223-6161(代表)

[歯学部] <https://www.dent.niigata-u.ac.jp> [医歯学総合病院歯科] <https://www.nuh.niigata-u.ac.jp>